

地方民紀
鉄行

水島臨海鉄道株式会社



昭和レトロな純喫茶。
妙に人間味のある整備中の列車。
別世界を創る神社の桜。
懐かしいもの、面白いもの、
どれだけ見つけれられるかは、
自分次第、運次第。

「ボ

リウム満点の日替わり定食はなんと税込600円。弊社男性社員ももちろん常連です。水島臨海鉄道ご担当者お薦めのランチスポットは、始発駅の倉敷市駅から6駅目、栄駅にある喫茶店。着いて早々お腹がすいて、散策前の腹ごしらえに、何はともあれ栄駅へ。

純喫茶の居心地は

迷うことなく発見できた栄駅近くのそのお店は、昭和レトロな「純喫茶」。窓越しに中をのぞけば、お昼時ということもあり、どうやら満席の様子。「待つ」という選択肢もあるけれど、常連さんたちの中に入り込むのがためられ、他のお店を探しに向かう。

駅周辺には他にも昔懐かしい佇まいの飲み屋さんや商店が軒を連ねる。閉まっているお店も多いけれど、よく見れば、「ランチ」の看板を掲げたお店がポツリポツリ。ところどころも「常連さん御用達」といった雰囲気のお店ばかりで、入りかけては諦めてを繰り返す。

これではいつまで経ってもお昼が食べられない。覚悟を決めて、目に入った喫茶店に入店。ドアを開けた途端、常連さんの視線が飛んでくるようなことはなく、すんなり着席。お客さんたちは、それぞれ自分の時間を楽しんでいるようで、新参者を気にする様子はない。こんな感じだったなら、お薦めされた喫茶店に入っておけばよかった。ともあれ、こちらのランチもお手ごろ価格でボリュームたっぷり。

しっかり食べて、腹ごしらえ終了。

行けども行けども工場ばかり

栄駅から常盤駅、水島駅の間は間隔が狭いらしい。純喫茶でのランチを堪能し、少し歩くと、いつの間にか常盤駅を通り過ぎ水島駅に到着。水島駅から終点の三菱自工前駅までは、あと一駅。次の列車は当分来ないし、歩いて行こう。

水島駅のすぐ近く、交通量の多い道路を一本横断すると、高架だった水島臨海鉄道の線路は次第に低くなってゆき、踏切が登場。機械音や金属音が空気を震わし、水島臨海工業地帯に入ることが体感できる。線路をたどり、パイプがうねる工場の前を抜けると、三菱自工前駅に到着。これより先に駅はなく、線路は倉敷貨物ターミナルへとつながっている。

工業地帯散策を兼ねてターミナルまで足を伸ばすと、「訓練中」の札が下がった列車が貨物列車と横並びで停車中。働いていない列車というのは、どこかのんびりして見える。全てのドアを全開にして、掃除をされている様子など、湯上がりさながらで微笑ましい。

金網越しにターミナルを眺め、さらに足向くまま周囲を散策。行けども行けども工場ばかり、いったいどれだけ広いのか。迷子になる前に三菱自工前駅に引き返し、倉敷市駅方面の列車を待ちながら、工業地帯を一望できる場所を探す。工場夜景が有名な水島臨海工業地帯、夜景スポットは数々見つかるけれど、車がないと行けない場所ばかり。「沿線」で、工場地帯が一望できる場所をあれこれ探し、ようやく見つけたポイントは、栄駅から



お薦めの喫茶店の店名は『ヘニバラ』、水島臨海鉄道の本社のすぐ側にある。

水島臨海鉄道水島本線

【みずしまりんかいてつどうみずしまほんせん】

倉敷市駅から三菱自工前駅までを30分未満で結ぶ、通勤通学利用が多い地域に密着した路線。高架化された線路下は駐車場などに有効活用されている。





ターミナルには、「訓練中」の列車や清掃中の列車が停車中。



列車は工場の真横を走り抜けていく。

徒歩38分の**籠取神社**。徒歩38分……日頃の運動不足を解消するか。

籠取神社は別世界

三菱自工前駅から栄駅までは列車で移動。そこから歩いて歩いて歩いて歩いて、ようやくたどり着いた籠取神社の鳥居の前で目に飛び込んできたのは、本殿へと続く何段あるのか知れない階段。あの広い水島臨海工業地帯を見渡せる場所であるからには、高い所にあるのは当然。「そりゃそっだよな」と呟いて、階段を上り始める。

数段上って一息、数段上って一息。上ってきた階段を振り返って確かめる度、見える景色が広がっていき、疲れが期待にすり替わる。最後の一段を上って振り返れば、思わず「おお」と声が出る。水島臨海工業地帯の工場群が確かに見渡せる。

回廊を抜け本殿に参拝。境内の開けた一角に進み、改めて遠く広がる工業地帯を見渡たしていると、視界を桜吹雪に遮られる。平日のため、他に人の気配はないけれど、籠取神社は桜の名所らしい。境内を囲むように植えられた桜が、今が散り時といった風情でざっと舞い散る光景は、綺麗すぎて恐くなるほど。夜になれば、夜桜と併せて工業地帯の夜景も見られそうだけれど、夜の境内で一人になった場合を想像して、断念。

工業地帯も一望できたし、予想外の桜吹雪も堪能した。歩いて、上った甲斐は十分あった。さて、そろそろ駅に戻ろう。

今日一番の大賑わい

籠取神社近くに栄駅まで行くバスを見つけて、帰りはバスで10分少々。榮々戻ってきたけれど、ちょっと一息つきたいところ。ランチを断念した、某喫茶店に再挑戦。夕暮れ時の店内に先客はなく、お店を独り占め。冷たい物が飲みたくて注文したオレングジューズは、缶詰のみかん入り。お茶請けに小さな最中とお煎餅にかりんとうまで添えられて、「純喫茶」の雰囲気満点。雑誌も読み放題で、つつい長居。すっかり傾いた日差しに気が付き、慌ててお店を後にする。

栄駅まで戻り、高架を上上げてふと思う、高架を走る列車からなら、工場の夜景が少しは見えるかも。暗くなるのを待ちがてら、再び三菱自工前駅までゆっくり歩き、倉敷市駅行きの列車に乗る。工場地帯が遠ざかり、列車が高架を走り始めると、予想通りチラチラと工場の光が見える。「一望」とはいかないけれど、見えたことで何だか納得。

車窓から車内に目を移すと、いつの間にか車内は満席。夜の車窓を鏡代わりに、乗客の様子を観察すれば、どの顔にも開放感にじんで見える。そういえば、今日は週末一歩手前の金曜日だった。乗客はほとんど増えていき、滑り込んだ倉敷市駅のホームにも、列車を待つ人が列をなしている。水島臨海鉄道は、本日一日見てきた中で一番の賑わい。

一週間の仕事や勉強から解放されて、これからお家に帰るのか、誰かと食事に出掛けるのか。時刻は夜の7時半、皆さん、列車に乗ってこれからどこに？



夕暮れ迫る水島臨海工業地帯。



桜の名所でもある籠取神社。階段を上る価値あり。



籠取神社からは水島臨海工業地帯が一望できる。